



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月31日

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所 上場取引所 東  
 コード番号 6022 URL <http://www.akasaka-diesel.jp>  
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名) 赤坂 全七  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役総務経理・営業管掌 (氏名) 木村 充宏 (TEL)054(685)6081  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,540	△3.9	79	△35.6	120	△14.4	65	△13.4
25年3月期第2四半期	5,765	△3.5	123	—	141	—	75	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4 28	— —
25年3月期第2四半期	4 94	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,461	8,279	57.3
25年3月期	14,707	8,210	55.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,279百万円 25年3月期 8,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	— —	— —	— —	2 00	2 00
26年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
26年3月期(予想)	— —	— —	— —	2 00	2 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	0.2	100	△44.1	120	△45.5	70	△50.7	4 57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	15,400,000株	25年3月期	15,400,000株
26年3月期2Q	95,017株	25年3月期	94,517株
26年3月期2Q	15,305,314株	25年3月期2Q	15,306,056株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復を背景とした、個人消費に改善の動きがみられましたが、国内においては消費増税や雇用状況に対する懸念、海外においては米国の量的金融緩和の縮小観測を契機にした新興国経済の減速感、また欧州経済の低迷、中東情勢を巡る影響など、实体经济の先行きに不透明な状況が続きました。

このような状況の中、海運・造船業界は円高是正が進み、内航船・外航船共に一部輸送量に回復の兆しが見られるものの、船腹の供給過多の状態を解消するまでは今しばらく時間がかかることから依然として厳しい状況にあります。

当社といたしましては、このような環境下、仕事量確保のための営業活動と製造工程でのコストダウンに努め、新造船用エンジンの売上はほぼ予定とおりでしたが、エンジン部品・修理工事の売上が当初の予定に届かなかった結果、当第2四半期累計期間は、売上高5,540百万円（前年同期比3.9%減）、経常利益120百万円（前年同期比14.4%減）、四半期純利益65百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は14,461百万円となり、前事業年度末に比べ245百万円減少いたしました。主な要因は、売掛金の増加（689百万円）や保有株式の時価上昇に伴う投資有価証券の増加（42百万円）に対し、流動資産では現金及び預金の減少（166百万円）、受取手形の減少（182百万円）や棚卸資産の減少（551百万円）等、固定資産では減価償却による有形固定資産の減少（106百万円）等によるものです。

当第2四半期末の負債は6,181百万円となり、前事業年度末に比べ314百万円減少いたしました。主な要因は、材料仕入による支払手形及び買掛金の増加（43百万円）に対し借入金の返済や社債の償還による減少（326百万円）等によるものです。

当第2四半期末の純資産は8,279百万円となり、前事業年度末に比べ68百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の計上等による繰越利益剰余金の増加（59百万円）やその他有価証券評価差額金の増加（35百万円）等によるものです。

この結果、当第2四半期末における自己資本比率は57.3%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想及び配当予想につきましては、第2四半期実績及び今後の経営環境を踏まえ平成25年10月31日に修正いたしております。詳しくは、同日付け公表の「平成26年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,900	130	170	100	6.53
今回修正予想 (B)	11,000	100	120	70	4.57
増減額 (B - A)	100	△30	△50	△30	—
増減率 (%)	0.9	△23.0	△29.4	△30.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	10,975	179	220	142	9.30

なお、配当予想につきましても、上記公表の「平成26年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、1株あたり2円とさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,086,802	2,919,840
受取手形及び売掛金	3,317,840	3,825,171
製品	300,000	333,338
仕掛品	2,531,183	1,968,215
原材料及び貯蔵品	444,867	423,369
その他	147,406	139,190
貸倒引当金	△1,331	△765
流動資産合計	9,826,768	9,608,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,717,730	1,702,674
その他(純額)	1,651,738	1,560,774
有形固定資産合計	3,369,468	3,263,448
無形固定資産		
	23,245	20,360
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,510,350	1,591,200
貸倒引当金	△22,621	△22,119
投資その他の資産合計	1,487,728	1,569,081
固定資産合計	4,880,443	4,852,890
資産合計	14,707,211	14,461,249
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,334,038	2,377,215
短期借入金	962,320	781,192
未払法人税等	36,427	47,883
引当金	217,322	195,585
その他	862,561	828,799
流動負債合計	4,412,669	4,230,675
固定負債		
社債	248,000	212,000
長期借入金	1,222,760	1,119,478
退職給付引当金	107,475	96,637
役員退職慰労引当金	158,553	164,478
その他	346,874	358,146
固定負債合計	2,083,663	1,950,740
負債合計	6,496,332	6,181,415

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,551,663	5,586,491
自己株式	△30,442	△30,507
株主資本合計	7,957,566	7,992,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	253,311	288,824
繰延ヘッジ損益	—	△1,319
評価・換算差額等合計	253,311	287,504
純資産合計	8,210,878	8,279,834
負債純資産合計	14,707,211	14,461,249

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,765,682	5,540,130
売上原価	4,891,076	4,733,072
売上総利益	874,606	807,058
販売費及び一般管理費	750,940	727,460
営業利益	123,665	79,597
営業外収益		
受取利息	749	1,339
受取配当金	9,677	10,282
スクラップ売却益	14,399	14,886
受取技術料	10,773	11,445
受取保険金	1,830	21,708
その他	14,685	7,764
営業外収益合計	52,116	67,427
営業外費用		
支払利息	31,667	24,834
その他	2,785	1,202
営業外費用合計	34,453	26,037
経常利益	141,328	120,988
特別利益		
投資有価証券売却益	1,080	—
特別利益合計	1,080	—
特別損失		
投資有価証券評価損	16,828	14,028
その他	3,080	—
特別損失合計	19,909	14,028
税引前四半期純利益	122,499	106,960
法人税等合計	46,905	41,521
四半期純利益	75,594	65,439



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	122,499	106,960
減価償却費	258,263	202,345
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,397	△1,068
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,000	△2,100
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△8,360	△19,637
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△21,385	△10,838
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,025	5,925
受取利息及び受取配当金	△10,427	△11,622
支払利息及び手形売却損	31,667	25,035
固定資産除売却損益(△は益)	3,080	105
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,080	—
投資有価証券評価損益(△は益)	16,828	14,028
売上債権の増減額(△は増加)	47,921	△507,330
割引手形の増減額(△は減少)	△100,060	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	119,661	551,128
その他の資産の増減額(△は増加)	28,558	△27,259
仕入債務の増減額(△は減少)	119,017	43,176
未払消費税等の増減額(△は減少)	△55,484	31,905
その他の負債の増減額(△は減少)	266,440	△74,414
小計	800,716	326,338
利息及び配当金の受取額	10,934	11,622
利息の支払額	△25,659	△26,168
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,168	△29,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	783,823	282,444
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△359,500	△65,500
定期預金の払戻による収入	354,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	△36,500	△87,955
有形固定資産の売却による収入	95	1
資産除去債務の履行による支出	△4,628	—
無形固定資産の取得による支出	△2,471	—
投資有価証券の取得による支出	△1,317	△1,577
投資有価証券の売却による収入	10,176	—
貸付けによる支出	△4,108	△8,262
貸付金の回収による収入	2,766	2,492
投資その他の資産の増減額(△は増加)	2,139	3,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,348	△96,823
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△33,340	△108,340
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△270,676	△276,070
社債の償還による支出	△43,200	△42,400
自己株式の純増減額(△は増加)	△116	△65
配当金の支払額	△46,439	△31,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△393,772	△358,082
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	350,703	△172,461
現金及び現金同等物の期首残高	2,272,317	2,858,802
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,623,021	2,686,340

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社の事業は船用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであります。

①生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	5,608,173	0.5

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	6,104,797	11.4	5,722,113	△6.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	5,540,130	△3.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。